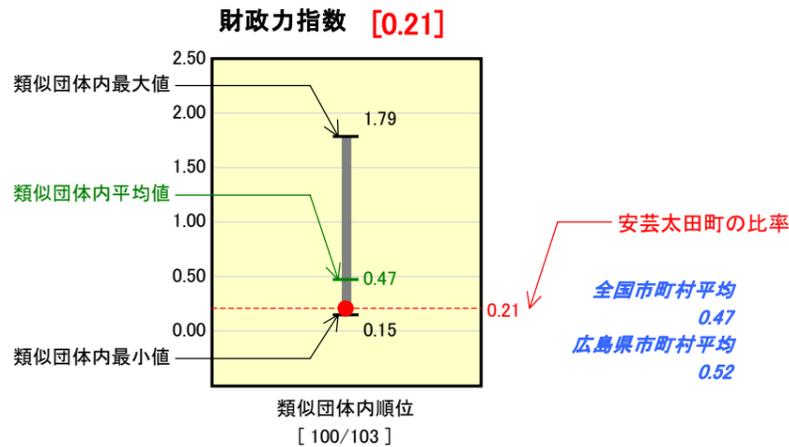


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

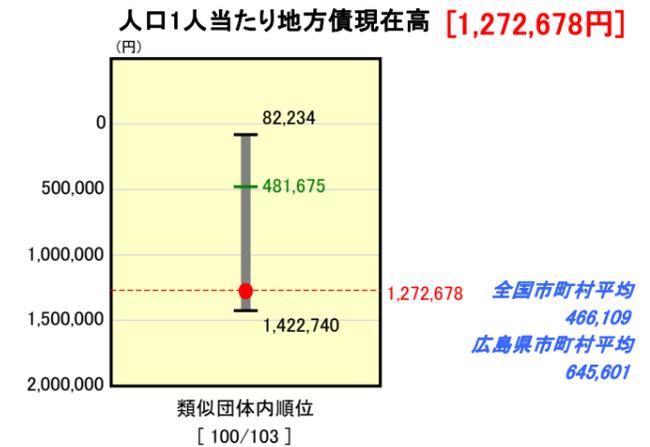
広島県 安芸太田町

人口	8,662 人(H17.3.31現在)
面積	342.25 km ²
歳入総額	10,060,018 千円
歳出総額	9,748,641 千円
実質収支	285,574 千円

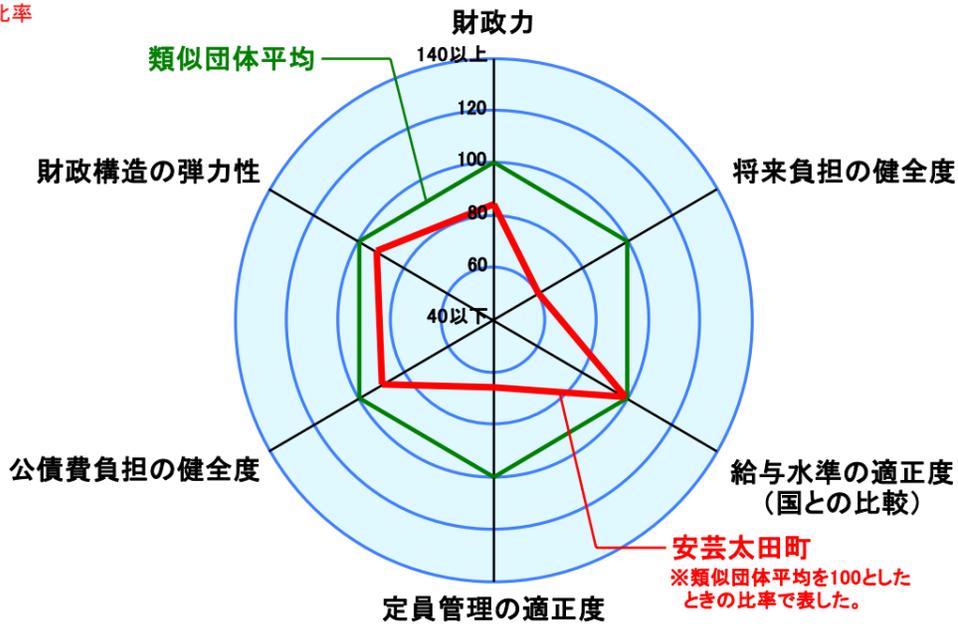
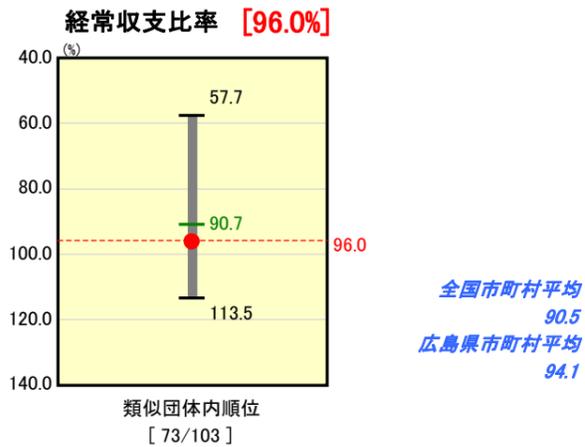
財政力



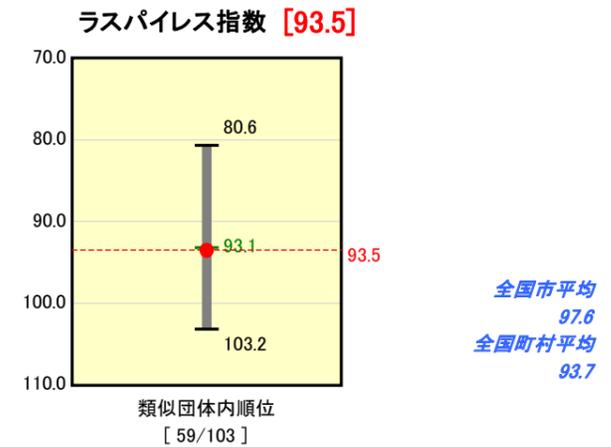
将来負担の健全度



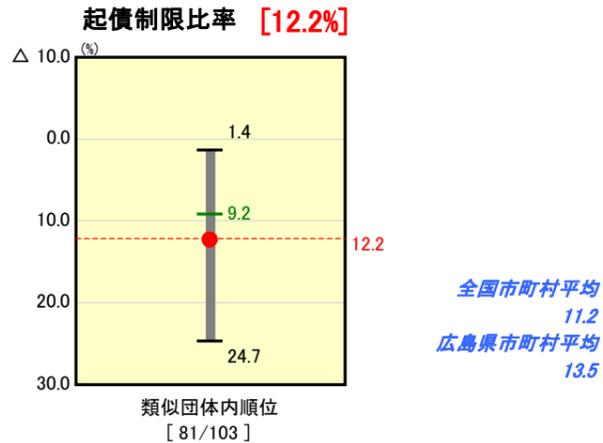
財政構造の弾力性



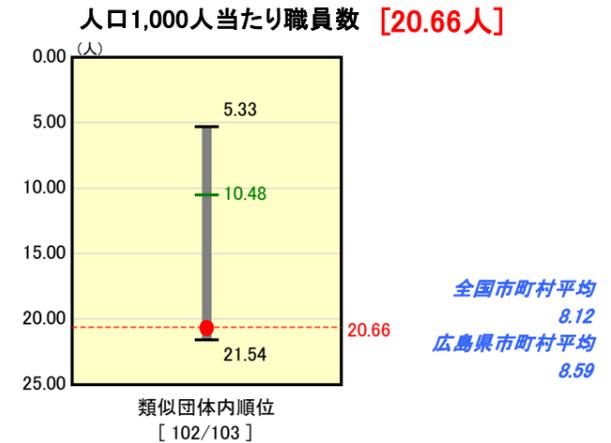
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

【財政力指数】
・人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成16年度末40.7%)に加え、町の財政基盤は弱く、類似団体内平均値をかなり下回っている。税収は平成14年度以降僅かながら伸びているが、景気の低迷により、個人・法人町民税は減少している。組織の見直し、施策の重点化に努め、歳出の削減を実施するとともに、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】
・経常収支比率は96.0%と類似団体平均を5.3ポイント上回っている。比率の高い経費は、公債費29.8%、人件費28.6%、補助費等17.2%となっている。今後は、起債依存型事業の抑制、人件費の削減、事務事業の点検・見直しを行い経費の削減に努め、行政改革への取組を通じて経常的経費の削減に努める。

【起債制限比率】
・起債制限比率は、近年下降傾向にあったが、平成16年度は12.2%(平成15年度11.6%)と上昇に転じた。平成16年度は県市町村平均を下回っているが、新たな起債発行については、事業の重要性、緊急性及び住民ニーズ等を充分考慮するとともに、財政措置のある起債に限定し、起債制限比率の上昇を抑える。

【人口1人当たり地方債現在高】
・地方債現在高は、類似団体内、県市町村及び全国市町村平均を大きく上回っている。地方債現在高は財政運営を圧迫する要因となり、償還は長期にわたり後世に負担を求める。新たな起債発行については、事業の重要性、緊急性及び住民ニーズ等を充分考慮し、起債に大きく頼ることのない財政運営に努め、地方債残高の縮減に努める。

【ラスパイレス指数】
・合併前からの定員適正化計画や給料の引き下げ等により、県内市町の中では最低水準である。類似団体の中では中位に位置している状況である。給与構造の見直しによる本俸の抑制と超過勤務手当の削減等を行うとともに、本年度策定の定員適正化計画による給与総額の削減などにより一層の給与適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
・平成16年10月の町村合併により、類似団体平均を大きく上回っている状況である。病院事業を設置している特殊性もあるが、今後、定員適正化計画に基づく、退職者に対する新規採用の抑制や事務事業の見直しにより、今後5年間で職員数を15%~20%程度の削減をする等、より適正な定員管理に努める。